

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2006-332728(P2006-332728A)

【公開日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2005-149116(P2005-149116)

【国際特許分類】

H 04 M 1/00 (2006.01)

G 06 F 1/28 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/00 W

G 06 F 1/00 3 3 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月29日(2008.2.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メインメニューを表示手段に表示させる第1の表示制御手段と、

この第1の表示制御手段により表示されたメインメニューより、特定の動作部を動作させる機能を選択する選択手段と、

この選択手段により特定の動作部を動作させる機能が選択されると、当該機能のサブメニューを前記表示手段に表示させる第2の表示制御手段と、

この第2の表示制御手段によりサブメニューが表示されている状態において、前記特定の動作部の動作指示を検出手段と、

この検出手段により前記特定の動作部の動作指示を検出すると、当該特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断する判断手段と、

この判断手段により前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能でないと判断されると前記メインメニューを前記表示手段に表示させる第3の表示制御手段と

を備えたことを特徴とする機能表示装置。

【請求項2】

前記判断手段は、前記検出手段が動作指示した特定の動作部の動作によって前記装置が低電圧状態になるか否かを判断することで、前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断することを特徴とする請求項1に記載の機能表示装置。

【請求項3】

前記第3の表示制御手段は、前記メインメニューを表示させるとき、前記選択手段によって選択された機能を他の機能と差別化して表示させることを特徴とする請求項1に記載の機能表示装置。

【請求項4】

撮像手段を更に備え、

前記特定の動作部は前記撮像手段を駆動させる動作部であることを特徴とする請求項1に記載の機能表示装置。

【請求項5】

放送受信手段を更に備え、

前記特定の動作部は前記放送受信手段を駆動させる動作部であることを特徴とする請求項1に記載の機能表示装置。

【請求項6】

拡声手段を更に備え、

前記特定の動作部とは前記拡声手段を動作させる駆動部であることを特徴とする請求項1に記載の機能表示装置。

【請求項7】

メインメニューを表示部に表示させる第1の表示ステップと、

この第1の表示ステップにて表示されたメインメニューより、特定の動作部を動作させる機能を選択する選択ステップと、

この選択ステップにて特定の動作部を動作させる機能が選択されると、当該機能のサブメニューを前記表示部に表示させる第2の表示ステップと、

この第2の表示ステップによりサブメニューが表示されている状態において、前記特定の動作部の動作指示を検出する検出ステップと、

この検出ステップにて前記特定の動作部の動作指示を検出すると、当該特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断する判断ステップと、

この判断ステップにて前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能でないと判断すると前記メインメニューを前記表示部に表示させる第3の表示ステップと

を備えたことを特徴とする機能表示方法。

【請求項8】

コンピュータを、

メインメニューを表示部に表示させる第1の表示制御手段、

この第1の表示制御手段によって表示されたメインメニューより、特定の動作部を動作させる機能を選択する選択手段、

この選択手段により特定の動作部を動作させる機能が選択されると、当該機能のサブメニューを前記表示部に表示させる第2の表示制御手段、

この第2の表示制御手段によりサブメニューが表示されている状態において、前記特定の動作部の動作指示を検出する検出手段、

この検出手段によって前記特定の動作部の動作指示を検出すると、当該特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断する判断手段、

この判断手段よって前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能でないと判断されると前記メインメニューを前記表示部に表示させる第3の表示制御手段

として実行させることを特徴とする機能表示プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明の課題は、利用することができない機能の不用意な選択を防止する機能表示装置、及び、機能表示方法を提供することである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために請求項1に記載の発明は、メインメニューを表示手段に表示させる第1の表示制御手段と、この第1の表示制御手段により表示されたメインメニューより、特定の動作部を動作させる機能を選択する選択手段と、この選択手段により特定の

動作部を動作させる機能が選択されると、当該機能のサブメニューを前記表示手段に表示させる第2の表示制御手段と、この第2の表示制御手段によりサブメニューが表示されている状態において、前記特定の動作部の動作指示を検出する検出手段と、この検出手段により前記特定の動作部の動作指示を検出すると、当該特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断する判断手段と、この判断手段により前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能でないと判断されると前記メインメニューを前記表示手段に表示させる第3の表示制御手段とを備えたことを特徴とする。

更に、上述した請求項1記載の発明に示した主要機能を実現させるための機能表示方法及び機能表示プログラムを提供する（請求項7、8記載の発明）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記判断手段は、前記検出手段が動作指示した特定の動作部の動作によって前記装置が低電圧状態になるか否かを判断することで、前記特定の動作部を動作させる機能が利用可能か否かを判断することを特徴とする。

請求項3に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記第3の表示制御手段は、前記メインメニューを表示させると、前記選択手段によって選択された機能を他の機能と差別化して表示させることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項4に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、撮像手段を更に備え、前記特定の動作部は前記撮像手段を駆動させる動作部であることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項5に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、放送受信手段を更に備え、前記特定の動作部は前記放送受信手段を駆動させる動作部であることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項6に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、拡声手段を更に備え、前記特定の動作部とは前記拡声手段を動作させる駆動部であることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0 0 1 1】**

本発明によれば、利用者が利用することができない機能を不用意に選択することを防止することができる。

【手続補正9】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 2****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正10】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 3****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正11】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 4****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正12】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 5****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正13】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 7 5****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 7 5】**

1 0 0 、 2 0 0 、 3 0 0 携帯電話

1 通信用スピーカ

2 メイン表示部

3 キー入力部

4 マイク

5 サブ表示部

6 カメラレンズ部

7 充電池

8 、 9 ステレオスピーカ

1 0 着信報知用 L E D

1 1 アンテナ

1 2 無線処理部

1 3 制御部

1 4 記憶部

1 5 音声処理部

1 6 ドライバ制御部

1 7 ドライバ

1 8 C C D

1 9 撮像処理部

2 0 音源 R O M

2 1 ドライバ
2 2 スピーカ
2 3 電圧監視部
2 4 電圧供給制御回路
2 5 テレビ／ラジオ部
1 0 1 蓋部
1 0 2 本体部
1 0 3 ヒンジ部
1 3 1 設定テーブル
1 4 1 不揮発性メモリ
1 4 2 H D D
1 4 3 スピンドルモータ
1 6 1 ~ 1 6 3 L E D
B バス
2 5 1 アンテナ
G 1 1、G 1 2 メインメニュー表示画面
G 2 1 ~ G 2 3 サブメニュー表示画面
G 3 1 動作画面